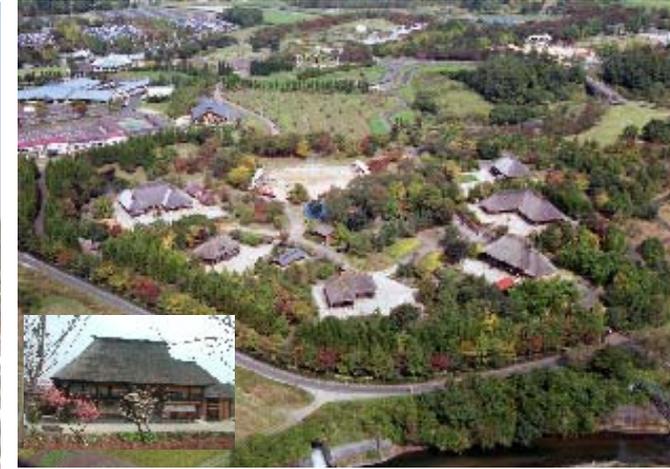


観光社会資本の事例

テーマ	釜房湖畔の豊かな水と緑、美しい蔵王連峰を望む国営みちのく杜の湖畔公園	
【施設の状況写真】		
		
蔵王連峰を背景とした国営みちのく杜の湖畔公園	「ふるさと村」は東北各県を代表する古い民家を移築復元し「ふるさと」の風景を作り出しています。	
【施設の利用写真】		
		
幼児から小学生まで楽しめる「わらすこひろば」、今日も子どもたちに大盛況です。	東北地方の主要都市の多くから容易にアクセスでき、自然豊かな広々とした空間の中でどなたでも気軽に楽しんでいただけるキャンプ場です。	ふるさと村の古民家(鳴瀬川河畔の家)では民話の会のボランティアにより、イベント期間中に昔かし懐かしい紙芝居を実演し大人から子供まで多くの人たちに好評を得ています。
【観光資源としての利用状況】		
全国で初めてのダム周辺整備事業として、旧建設省が着手した釜房湖畔公園は、昭和55年に釜房湖畔公園として完成しました。翌年、釜房湖畔公園の趣旨を受け継いで事業着手されたのが、東北初の国営公園である「国営みちのく杜の湖畔公園」です。平成元年8月の開園以来、入園者数は平成17年7月末現在で累計約730万人に達しており、年間入園者数は、平成16年度の実績で約60万人となっており、南東北の観光拠点となっています。特にゴールデンウィーク期間中(H17)は、入園者14万人を集め、宮城県内の入り込み人数では、松島(17.8万人)に次いで2位となっています。また、平成15年度にはオートキャンプ場「エコキャンプみちのく」がオープンし平成16年度は6.3万人、平成17年7月末現在では2.7万人が利用しています。		

テーマ	釜房湖畔の豊かな水と緑、美しい蔵王連峰を望む国営みちのく杜の湖畔公園
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名 称 国営みちのく杜の湖畔公園</p> <p>所 在 地 宮城県柴田郡川崎町大字小野字二本松 53-9</p> <p>事 業 名 国営公園整備事業</p> <p>事業主体 国土交通省</p> <p>事業期間 昭和56年～</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>地域観光の振興</p> <p>国営みちのく杜の湖畔公園は、南東北の主要都市である仙台市、山形市、福島市を20～50km圏内におき、広域的かつ多様なレクリエーションニーズに対応するなど、南東北の中心的な施設として、昨年度は年間約60万人の方々に利用されています。</p> <p>多彩なイベントの推進</p> <p>四季折々の公園の風景を彩るイベントを開催すると共に、「自然を感じ楽しむ会」など参加体験型のイベントを実施しています。また、様々な活動を行っている一般市民等の方から公園で行いたいイベントを募集し企画実施する「夢プラン」に取り組んでいます。</p> <p>市民参加による管理運営を促進</p> <p>「ふるさと村の民話を聞く会」による民話語りなどボランティアによる管理運営を促進し市民参加の交流の拠点となっています。</p> <p>総合学習、遠足など学校関連の利用促進</p> <p>ふるさと村の水田での米作りや炭焼き体験など、総合学習の場として利用促進や、周辺市町村の小学校の遠足時などには、自然観察等の「自然学習プログラム」を実施しています。</p>	
<p>【位置図】</p> 	
<p>【関連ホームページ】 国営みちのく杜の湖畔公園 http://www.thr.mlit.go.jp/m-park/ 釜房ダム http://www.thr.mlit.go.jp/kamafus a/</p>	